

J A熊本うき女性部活動報告

○女性正組合員大会

当JAでは、女性のJA運営参画への意識を高めようと、県内に先駆けして2007（平成19）年から女性正組合員加入促進運動を展開しています。正組合員に占める女性の割合は、2017（平成29）年1月末で目標の25%を達成しました。毎年、女性正組合員を対象に「女性正組合員大会」を開き、交流の場を設けています。9回目を迎えた今年は、女性部と連携して企画。約550人が出席しました。

大会では、女性部うきうきサークル活動の発表や「劇団きやあ」による肥後にわか公演、JA生活福祉事業の紹介、参加者全員に贈呈するエコーコープ商品「アパナチコール夫婦歯ブラシ」の説明、洋ランなどが当たる抽選会を行ない、会場を盛り上げました。



▲大会であいさつする開田理事

開田洋子女性正組合員代表JA理事は「女性一人一人の力を合わせて、農業と地域を守っていききたい。女性が公の場で活躍できるように、女性正組合員の輪を広げていこう」とあいさつ。今後JA女性部と連携しながら、JA組織基盤の強化拡充に向けた運動を展開してまいります。

○うきうき女性大学

女性の教養を高め、JAファンづくりと意識啓発を図ろうと、女性部員を対象に、毎年「うきうき女性大学」を開校しています。10期目となる2016（平成28）年度は71人が入校。料理講習会やテーブルマナーなど全5回の講座を開きました。



▲くまモンうちわを手に笑顔を見せる女性部員

昨年の開校式では、一般社団法人家の光協会・九州普及文化局の中道主太氏を講師に「いつまでも健康に」『家の光』読書会」と題した講演と、家の光を活用した熊本地震復興支援運動の「ちぎり和紙のくまモンうちわ」を制作。料理講習会では、宇城産の食材をふんだんに使い、エコーコープ商品の良さを再確認しました。



▲料理講習会に参加した女性部員

○JA役職員との意見交換会

女性部は、JA事業に対する意見や要望を直接聞いてもらおうと、JA役職員との意見交換会を開いています。2016（平成28）年度は、女性部役員やJA役職員16人が出席。調理室やコインランドリーなど充実した設備の要望を中心に、JA事業全般に対する建設的な意見を交わしました。



▲意見を交わす女性部役員とJA役職員

○女性部家の光大会

女性部は、小川総合文化センター「ラポート」で2016（平成28）年度女性部家の光大会を開きました。女性部員など約450人が出席し、家の光記事活用発表や体験発表、学習会などを行ない、部員同士の親睦と結束を深めました。



▲大会に女性部員約450人が参加